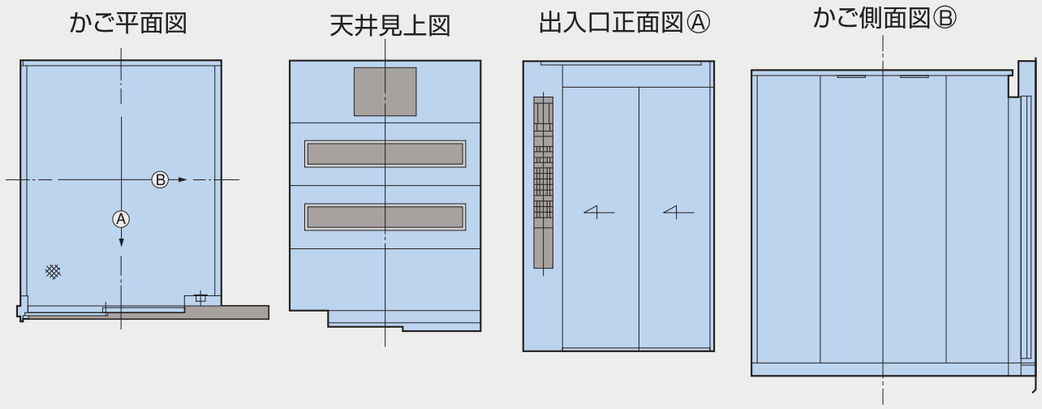
内室意匠図（荷物用）

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

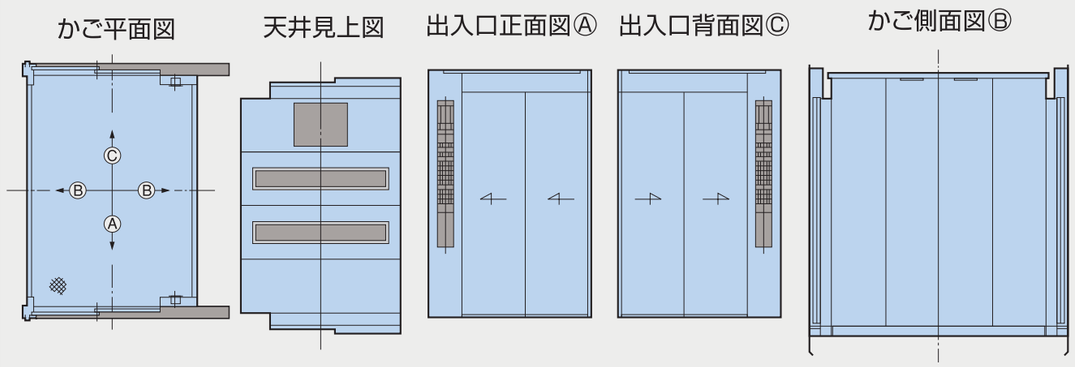
一方向出入口

◆積載750kg/1,000kgの場合



二方向出入口

◆積載750kg/1,000kgの場合



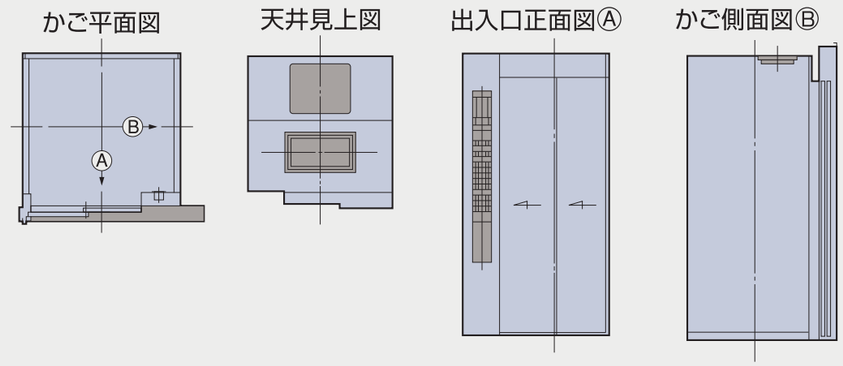
※積載量2,000kg以上の場合は、上開き戸となります。出入口間口寸法によっては片開き戸も可能です。詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。
※かご寸法オーダーメイドの場合は、照明数量が異なります。

内室意匠図（人荷用）

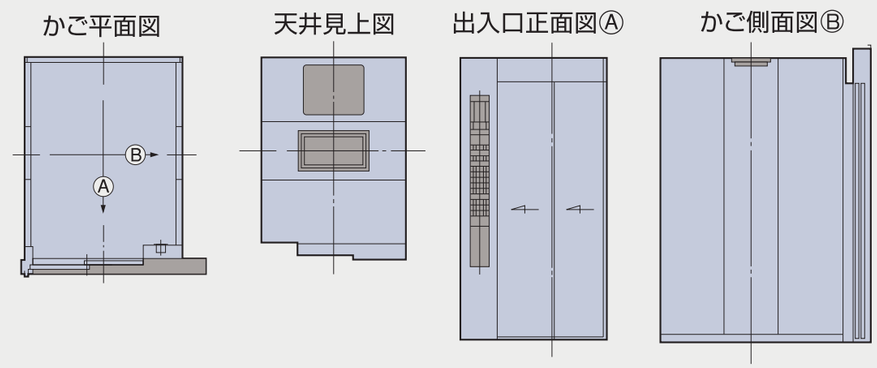
MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

一方向出入口

◆積載500kgの場合



◆積載750kg/1,000kg/1,500kgの場合



仕様

	荷物用	人荷用
天井	鋼板塗装仕上	鋼板塗装仕上
側壁	鋼板塗装仕上	鋼板塗装仕上
欄間	鋼板塗装仕上	鋼板塗装仕上
扉	鋼板塗装仕上	鋼板塗装仕上
入口柱	ステンレスH.L	ステンレスH.L

	荷物用	人荷用
巾木	――――	ステンレスH.L
照明	LED	LED
救出口	500×400mm	500×400mm
床	チェッカープレート	Pタイル
敷居	硬質アルミ	硬質アルミ

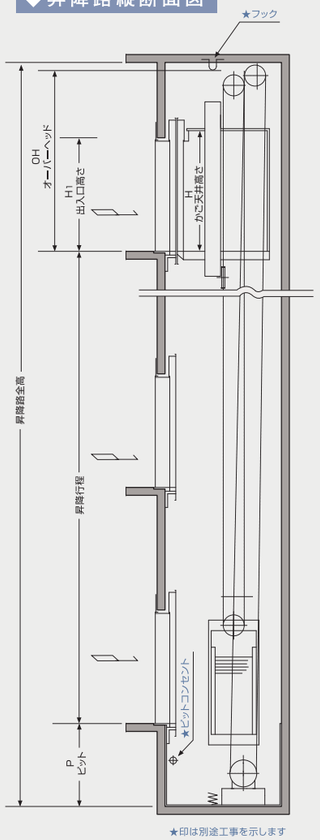
荷物用エレベーター据付図（マシンルームレス）

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

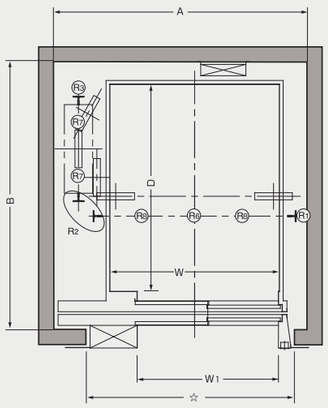
荷物用エレベーター
荷物を輸送することを目的とするもので、
荷扱者・運転者以外の人は利用できません。

一方向出入口

◆昇降路縦断面図



◆昇降路平面図



緩衝器は積載質量により、1本使いの場合（R_6）と
2本使いの場合（R_8）があります。

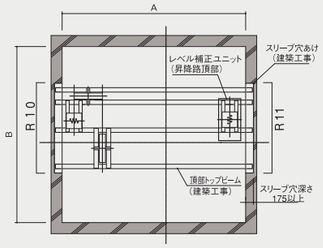
☆印の寸法はP15をご参照ください。

2Uタイプ

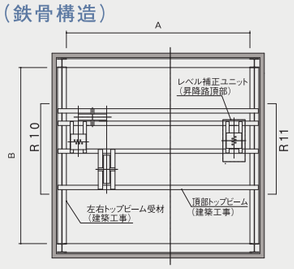
※積載：2000kgを超える場合に必要となる図面

◆頂部平面図（RC造）

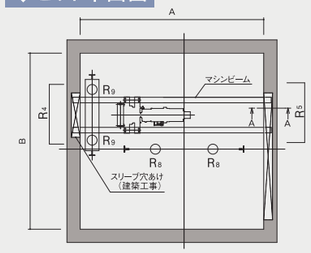
（反力：R 10・R 11＝鉛直荷重）
頂部トップビームの搬入方法は別途打合せとなる。



（鉄骨構造）

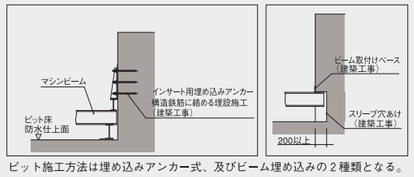


◆ピット平面図



（反力：R 4・R 5＝引上げ荷重）
（反力：R 8・R 9＝床衝撃荷重）

◆ピット部マシンビーム施工図（A－A断面図）



ピット施工方法は埋め込みアンカー式、及びビーム埋め込みの２種類となる。
（詳細は別途打合せ）

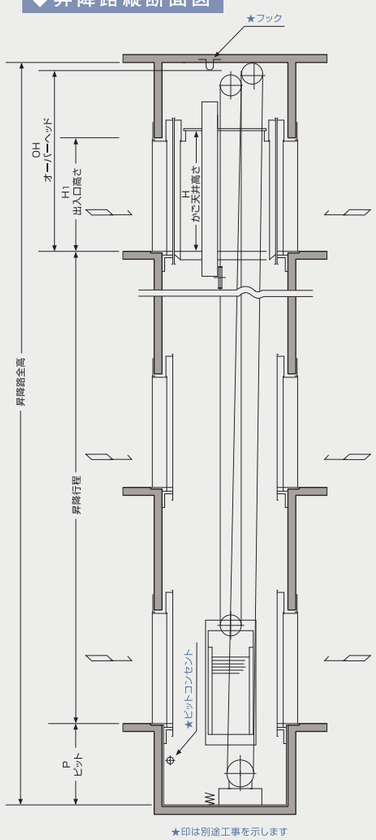
機種	出入口	積載質量(kg)	速度(m/min)	かご内法(mm) 間口(W)	奥行(D)	高さ(H)	出入口(mm) 間口(W1)	高さ(H1)	昇降路内法(mm) 昇降路間口(A)	昇降路奥行(B)	最小階高	オーバーヘッド(OH)	ピット(P)	ピット反力(kN)[鉛直荷重] 長期荷重 R1	R2	R3	R4	R5	緩衝器衝突時 R6	R7	R8	R9	頂部反力(kN) 長期荷重 R10	R11	電動機容量(kW)
MLFLe-500-2S	一方向	500	30(45)	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,300	2,350	2,800	3,250	1,230	16	22	20	—	—	44	18	—	—	—	—	5.5
MLFLe-600-2S		600	30(45)	1,350	1,750	2,300	1,100	2,100	2,450	2,600	2,800	3,250	1,230	18	26	24	—	—	54	22	—	—	—	—	5.5
MLFLe-750-2S		750	30(45)	1,500	2,000	2,300	1,200	2,100	2,600	2,850	2,800	3,250	1,230	22	30	29	—	—	66	27	—	—	—	—	5.5
MLFLe-1000-2S		1,000	30(45)	1,800	2,200	2,300	1,500	2,100	2,900	3,050	2,800	3,250	1,230	29	40	39	—	—	90	37	—	—	—	—	5.5(7.5)
MLFLe-1500-3S		1,500	30(45)	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,700	3,350	3,100	3,250	1,380	41	54	54	—	—	—	52	64	—	—	—	7.5(11)
MLFLe-2000-3S		2,000	30(45)	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,700	3,980	3,100	3,250	1,380	56	75	75	—	—	—	76	88	—	—	—	11(15)
MLFLe-2000-2U(3U)		2,000	30(45)	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,850	4,040	4,400	4,700	1,380	58	77	76	—	—	—	75	91	—	—	—	11(15)
MLFLe-3000-3S		3,000	30(45)	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,490	4,480	3,350	5,850	2,100	—	—	—	130	35	—	—	135	110	340	160	22
MLFLe-3000-2U(3U)		3,000	30	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,490	4,480	4,850 (4,500)	5,850	2,100	—	—	—	130	35	—	—	135	115	350	160	22
MLFLe-4000-3S		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,490	5,080	3,350	5,850	2,300	—	—	—	160	45	—	—	170	135	430	200	22
MLFLe-4000-2U(3U)		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,490	5,080	4,850 (4,500)	5,850	2,300	—	—	—	165	45	—	—	170	140	435	205	22

積載4,000kgを超える場合、もしくは上記標準仕様外の場合は、お問い合わせ下さい。

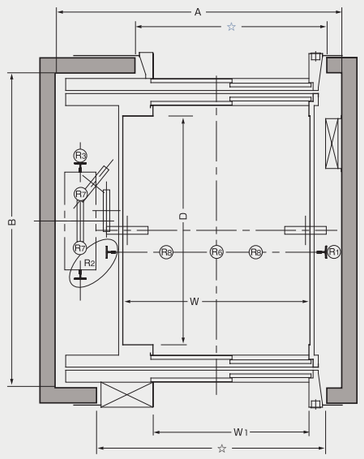
■反力は昇降路全高12m時の数値です。 ■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。 ■昇降路温度が40度を保たれない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

二方向出入口

◆昇降路縦断面図



◆昇降路平面図



緩衝器は積載質量により、1本使いの場合（R_6）と
2本使いの場合（R_8）があります。

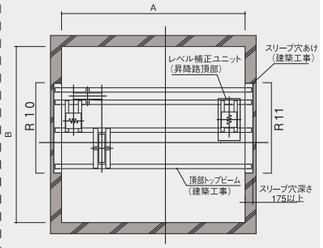
☆印の寸法はP15をご参照ください。

2Uタイプ

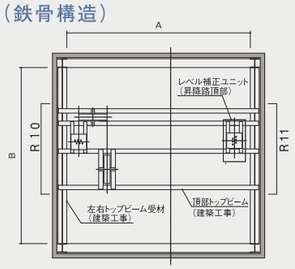
※積載：2000kgを超える場合に必要となる図面

◆頂部平面図（RC造）

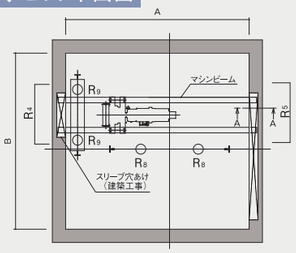
（反力：R 10・R 11＝鉛直荷重）
頂部トップビームの搬入方法は別途打合せとなる。



（鉄骨構造）

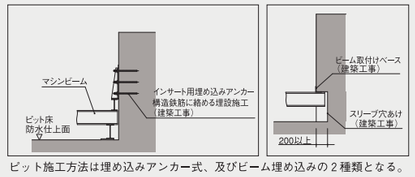


◆ピット平面図



（反力：R 4・R 5＝引上げ荷重）
（反力：R 8・R 9＝床衝撃荷重）

◆ピット部マシンビーム施工図（A－A断面図）



ピット施工方法は埋め込みアンカー式、及びビーム埋め込みの２種類となる。
（詳細は別途打合せ）

注）二方向仕様（貫通型）で、出入口が最下階のみ背面側になる場合はピット有効深さを＋700㎜加算してください。

機種	出入口	積載質量(kg)	速度(m/min)	かご内法(mm) 間口(W)	奥行(D)	高さ(H)	出入口(mm) 間口(W1)	高さ(H1)	昇降路内法(mm) 昇降路間口(A)	昇降路奥行(B)	最小階高	オーバーヘッド(OH)	ピット(P)	ピット反力(kN)[鉛直荷重] 長期荷重 R1	R2	R3	R4	R5	緩衝器衝突時 R6	R7	R8	R9	頂部反力(kN) 長期荷重 R10	R11	電動機容量(kW)
MLFLe-500-2ST	二方向	500	30(45)	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,400	2,320	2,800	3,250	1,230	17	20	24	—	—	49	20	—	—	—	—	5.5
MLFLe-600-2ST		600	30(45)	1,350	1,750	2,300	1,100	2,100	2,550	2,570	2,800	3,250	1,230	20	24	29	—	—	59	24	—	—	—	—	5.5
MLFLe-750-2ST		750	30(45)	1,500	2,000	2,300	1,200	2,100	2,700	2,820	2,800	3,250	1,230	24	33	31	—	—	73	31	—	—	—	—	5.5
MLFLe-1000-2ST		1,000	30(45)	1,800	2,200	2,300	1,500	2,100	3,000	3,020	2,800	3,250	1,230	32	43	41	—	—	98	41	—	—	—	—	5.5(7.5)
MLFLe-1500-3ST		1,500	30(45)	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,800	3,300	3,100	3,250	1,380	43	58	56	—	—	—	56	68	—	—	—	7.5(11)
MLFLe-2000-3ST		2,000	30(45)	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,800	4,200	3,100	3,250	1,380	58	78	77	—	—	—	76	92	—	—	—	11(15)
MLFLe-2000-2UT(3UT)		2,000	30(45)	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,850	4,360	4,400	4,700	1,380	62	83	79	—	—	—	81	98	—	—	—	11(15)
MLFLe-3000-3ST		3,000	30	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,490	4,500	3,350	5,850	2,100	—	—	—	130	35	—	—	140	115	350	165	22
MLFLe-3000-2UT(3UT)		3,000	30	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,490	4,660	4,850 (4,500)	5,850	2,100	—	—	—	135	35	—	—	145	120	365	170	22
MLFLe-4000-3ST		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,490	5,100	3,350	5,850	2,300	—	—	—	165	45	—	—	170	140	440	205	22
MLFLe-4000-2UT(3UT)		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,490	5,260	4,850 (4,500)	5,850	2,300	—	—	—	170	45	—	—	180	145	455	210	22

積載4,000kgを超える場合、もしくは上記標準仕様外の場合は、お問い合わせ下さい。

■反力は昇降路全高12m時の数値です。 ■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。 ■昇降路温度が40度を保たれない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

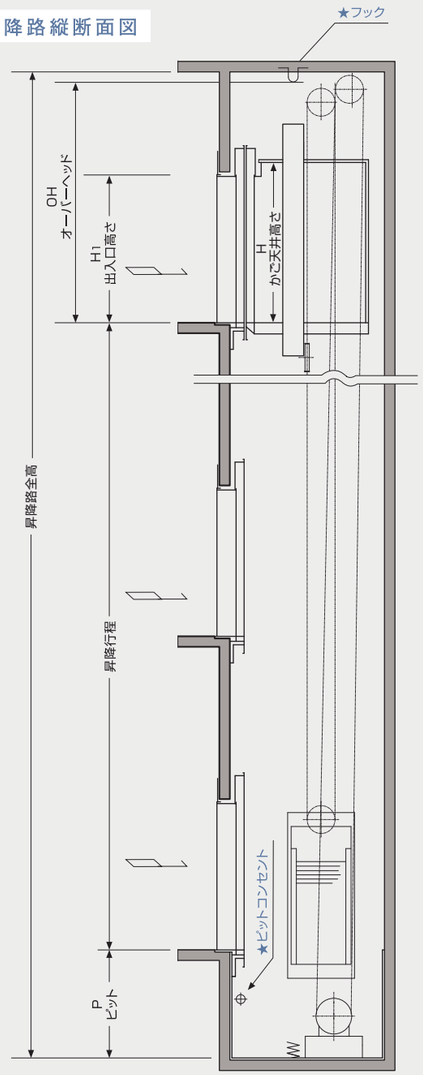
人荷用エレベーター据付図（マシンルームレス）

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

人荷用エレベーター
人及び荷物を輸送することを目的とするものです。
※法的には乗用エレベーターとして扱われます。

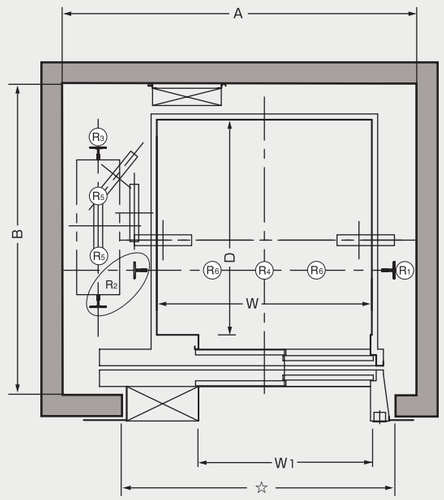
一方向出入口

◆昇降路縦断面図



★印は別途工事を示します

◆昇降路平面図

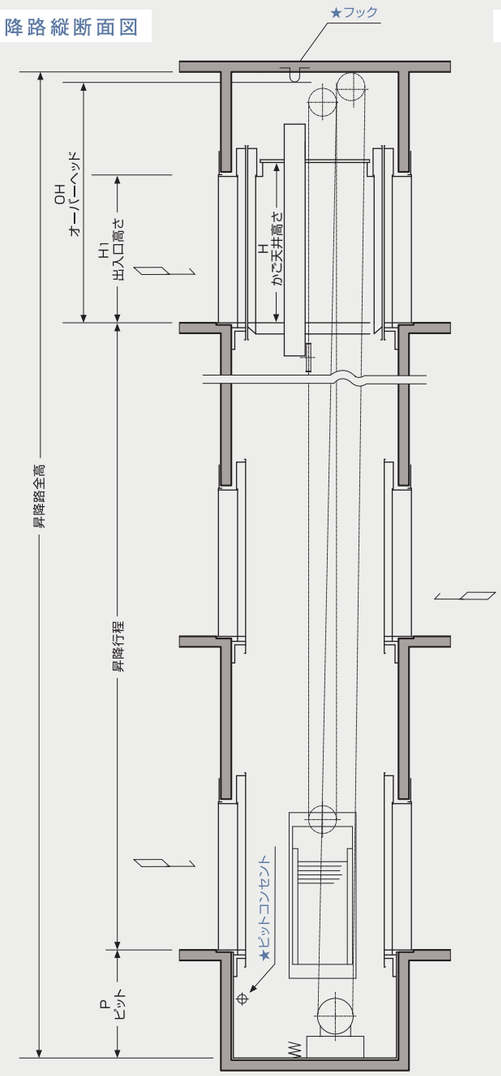


緩衝器は積載質量により、1本使いの場合（R_4）と
2本使いの場合（R_6）があります。

☆印の寸法はP15をご参照ください。

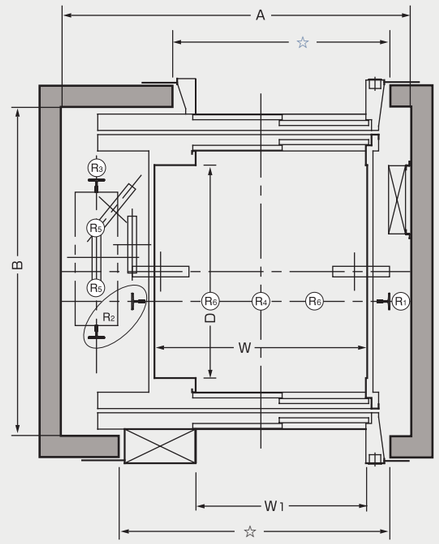
二方向出入口

◆昇降路縦断面図



★印は別途工事を示します

◆昇降路平面図



緩衝器は積載質量により、1本使いの場合（R_4）と
2本使いの場合（R_6）があります。

☆印の寸法はP15をご参照ください。

注）二方向仕様（貫通型）で、出入口が最下階のみ背面側になる
場合はピット有効深さを+700mm加算してください。

機種	出入口	定員（人）	積載質量（kg）	速度（m/min）	かご内法（mm） 間口（W）	奥行（D）	高さ（H）	出入口（mm） 間口（W1）	高さ（H1）	昇降路内法（mm） 昇降路間口（A）	昇降路奥行（B）	最小階高	オーバーヘッド（OH）	ピット（P）	ピット反力（kN）［鉛直荷重］ 長期荷重 R_1	R_2	R_3	緩衝器衝突時 R_4	R_5	R_6	電動機容量（kW）
MSPLe-500-2S	一方向	7	500	30(45)	1,050	1,300	2,300	900	2,100	2,150	2,150	2,800	3,250	1,230	16	19	23	44	18	—	5.5
MSPLe-600-2S		9	600	30(45)	1,200	1,300	2,300	900	2,100	2,300	2,150	2,800	3,250	1,230	18	22	28	54	22	—	5.5
MSPLe-750-2S		10	750	30(45)	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,300	2,350	2,800	3,250	1,230	21	28	27	61	25	—	5.5
MSPLe-1000-2S		14	1,000	30(45)	1,500	1,500	2,300	1,200	2,100	2,600	2,350	2,800	3,250	1,230	28	38	37	—	35	43	5.5(7.5)
MSPLe-1500-2S		23	1,500	30(45)	1,800	1,800	2,300	1,500	2,100	2,940	2,650	2,800	3,250	1,380	39	52	52	—	49	62	7.5(11)

■反力は昇降路全高12m時の数値です。　■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。　■昇降路温度が40度を保たれない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

機種	出入口	定員（人）	積載質量（kg）	速度（m/min）	かご内法（mm） 間口（W）	奥行（D）	高さ（H）	出入口（mm） 間口（W1）	高さ（H1）	昇降路内法（mm） 昇降路間口（A）	昇降路奥行（B）	最小階高	オーバーヘッド（OH）	ピット（P）	ピット反力（kN）［鉛直荷重］ 長期荷重 R_1	R_2	R_3	緩衝器衝突時 R_4	R_5	R_6	電動機容量（kW）
MSPLe-500-2ST	二方向	7	500	30(45)	1,050	1,300	2,300	900	2,100	2,250	2,140	2,800	3,250	1,230	17	21	24	49	20	—	5.5
MSPLe-600-2ST		9	600	30(45)	1,200	1,300	2,300	900	2,100	2,400	2,140	2,800	3,250	1,230	20	24	28	59	24	—	5.5
MSPLe-750-2ST		10	750	30(45)	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,400	2,340	2,800	3,250	1,230	22	26	32	66	27	—	5.5
MSPLe-1000-2ST		14	1,000	30(45)	1,500	1,500	2,300	1,200	2,100	2,700	2,340	2,800	3,250	1,230	30	34	44	—	37	45	5.5(7.5)
MSPLe-1500-2ST		23	1,500	30(45)	1,800	1,800	2,300	1,500	2,100	3,040	2,640	2,800	3,250	1,380	41	46	61	—	52	64	7.5(11)

■反力は昇降路全高12m時の数値です。　■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。　■昇降路温度が40度を保たれない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

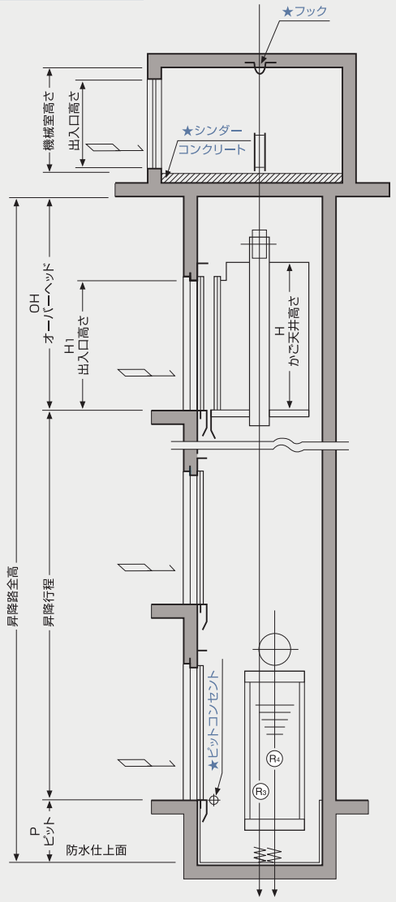
荷物用エレベーター据付図（機械室あり）

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

荷物用エレベーター
荷物を輸送することを目的とするもので、
荷扱者・運転者以外の人は利用できません。

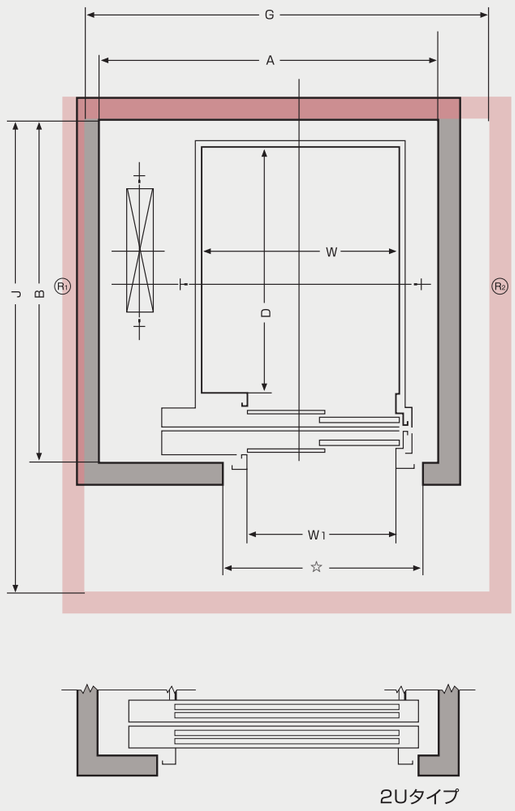
一方向出入口

◆昇降路縦断面図



★印は別途工事を示します

◆昇降路／機械室平面図



☆印の寸法はP15をご参照ください。

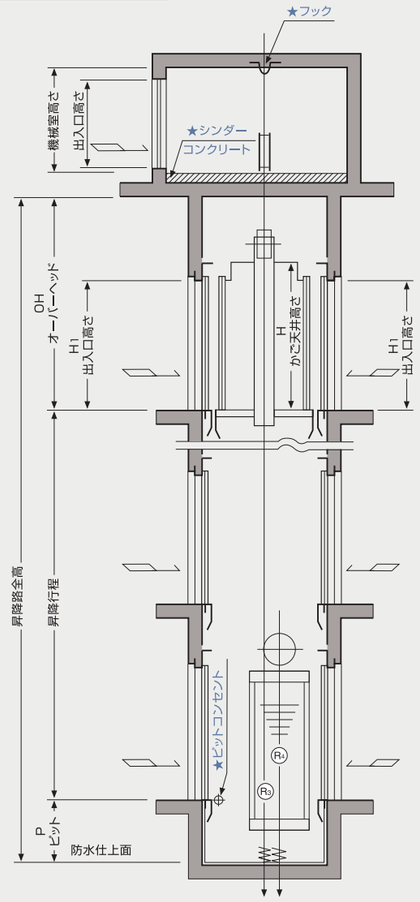
機　　種	出入口	積載質量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法 (mm) 間口 (W)	かご内法 (mm) 奥行 (D)	かご内法 (mm) 高さ (H)	出入口 (mm) 間口 (W1)	出入口 (mm) 高さ (H1)	昇降路内法 (mm) 昇降路間口 (A)	昇降路内法 (mm) 昇降路奥行 (B)	昇降路内法 (mm) オーバーヘッド (OH)	昇降路内法 (mm) ピット (P)	機械室内法 (mm) G	機械室内法 (mm) J	最小階高	反力 (kN)［鉛直荷重］長期荷重 R1	長期荷重 R2	緩衝器衝突時 かご R3	緩衝器衝突時 ウェイト R4	電動機容量 (kW)
MLFe-500-2S	一方向	500	30（45）	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,300	2,100	4,350	1,230	3,350	2,900	2,800	40	18	44	36	5.5
MLFe-600-2S		600	30（45）	1,350	1,750	2,300	1,100	2,100	2,450	2,350	4,350	1,230	3,150	3,800	2,800	46	22	54	44	5.5
MLFe-750-2S		750	30（45）	1,500	2,000	2,300	1,200	2,100	2,600	2,600	4,350	1,230	3,350	4,000	2,800	55	26	66	54	5.5
MLFe-1000-2S		1,000	30（45）	1,800	2,200	2,300	1,500	2,100	2,900	2,800	4,350	1,230	3,600	4,600	2,800	75	33	90	74	5.5(7.5)
MLFe-1500-3S		1,500	30（45）	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,700	3,100	4,300	1,230	4,000	4,500	3,100	95	61	128	104	7.5(11)
MLFe-1500-2U		1,500	30（45）	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,400	3,100	4,700	1,230	4,000	4,500	4,400	99	63	134	108	7.5(11)
MLFe-2000-3S		2,000	30（45）	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,700	3,980	4,300	1,230	5,000	5,500	3,100	144	67	176	144	11(15)
MLFe-2000-2U		2,000	30（45）	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,400	3,980	4,700	1,230	5,000	5,500	4,400	149	69	182	150	11(15)
MLFe-3000-3U		3,000	30	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,000	4,480	4,800	1,500	5,500	6,500	4,500	230	130	270	225	22
MLFe-4000-3U		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,100	5,080	5,000	1,500	6,000	7,000	4,500	300	150	340	275	22

積載4,000kgを超える場合、もしくは上記標準仕様外の場合は、お問い合わせ下さい。

■機械室の各反力はR_1＝オモリ側、R_2＝戸当り側を示します。　■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。

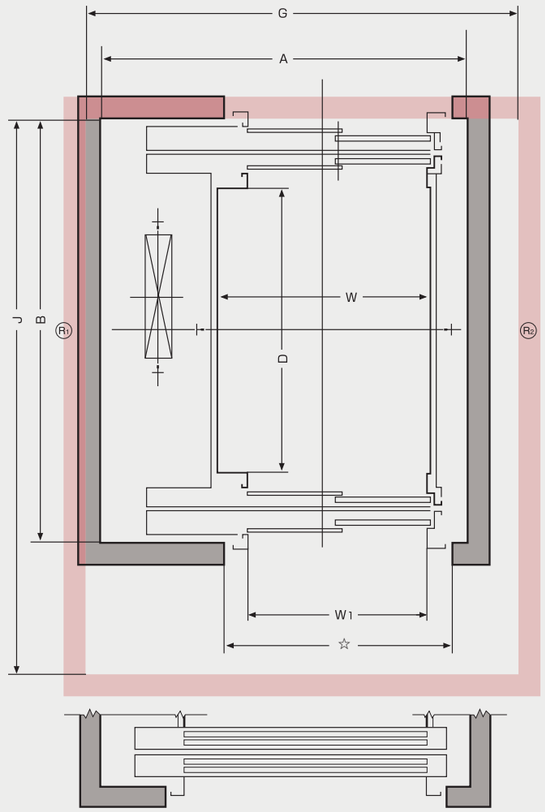
二方向出入口

◆昇降路縦断面図



★印は別途工事を示します

◆昇降路／機械室平面図



注）二方向仕様（貫通型）で、出入口が最下階のみ背面側になる場合はピット有効深さを+700mm加算してください。

☆印の寸法はP15をご参照ください。

機　　種	出入口	積載質量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法 (mm) 間口 (W)	かご内法 (mm) 奥行 (D)	かご内法 (mm) 高さ (H)	出入口 (mm) 間口 (W1)	出入口 (mm) 高さ (H1)	昇降路内法 (mm) 昇降路間口 (A)	昇降路内法 (mm) 昇降路奥行 (B)	昇降路内法 (mm) オーバーヘッド (OH)	昇降路内法 (mm) ピット (P)	機械室内法 (mm) G	機械室内法 (mm) J	最小階高	反力 (kN)［鉛直荷重］長期荷重 R1	長期荷重 R2	緩衝器衝突時 かご R3	緩衝器衝突時 ウェイト R4	電動機容量 (kW)
MLFe-500-2ST	二方向	500	30（45）	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,300	2,320	4,350	1,230	3,350	3,000	2,800	44	20	48	40	5.5
MLFe-600-2ST		600	30（45）	1,350	1,750	2,300	1,100	2,100	2,450	2,570	4,350	1,230	3,150	3,800	2,800	50	24	58	48	5.5
MLFe-750-2ST		750	30（45）	1,500	2,000	2,300	1,200	2,100	2,600	2,820	4,350	1,230	3,350	4,000	2,800	61	29	74	62	5.5
MLFe-1000-2ST		1,000	30（45）	1,800	2,200	2,300	1,500	2,100	2,900	3,020	4,350	1,230	3,600	4,600	2,800	82	36	98	82	5.5(7.5)
MLFe-1500-3ST		1,500	30（45）	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,700	3,300	4,300	1,230	4,000	4,500	3,100	101	64	136	112	7.5(11)
MLFe-1500-2UT		1,500	30（45）	2,300	2,500	2,300	2,300	2,300	3,400	3,240	4,700	1,230	4,000	4,500	4,400	109	69	146	122	7.5(11)
MLFe-2000-3ST		2,000	30（45）	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,700	4,200	4,300	1,230	5,000	5,500	3,100	151	69	184	152	11(15)
MLFe-2000-2UT		2,000	30（45）	2,300	3,400	2,300	2,300	2,300	3,400	4,140	4,700	1,230	5,000	5,500	4,400	161	73	196	162	11(15)
MLFe-3000-3UT		3,000	30	2,800	3,700	2,500	2,800	2,500	4,000	4,660	4,800	1,500	5,500	6,500	4,500	240	135	285	235	22
MLFe-4000-3UT		4,000	30	2,800	4,300	2,500	2,800	2,500	4,100	5,260	5,000	1,500	6,000	7,000	4,500	310	155	355	290	22

積載4,000kgを超える場合、もしくは上記標準仕様外の場合は、お問い合わせ下さい。

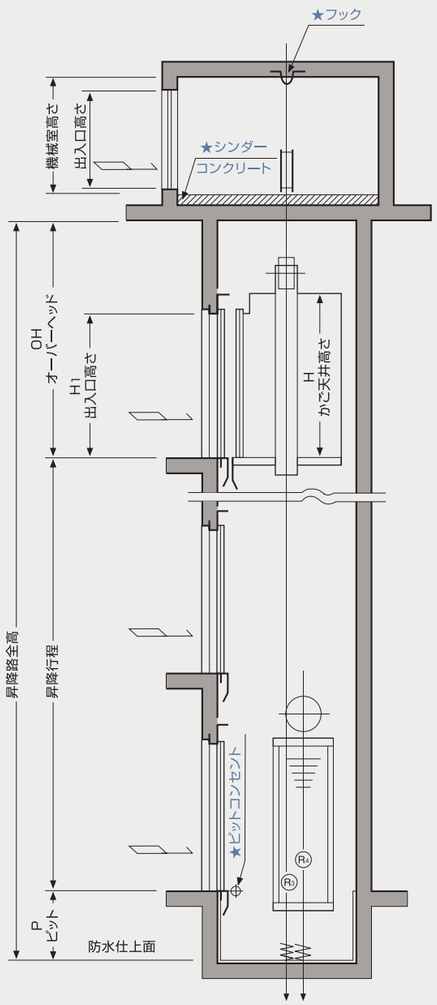
■機械室の各反力はR_1＝オモリ側、R_2＝戸当り側を示します。　■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。

人荷用エレベーター据付図(機械室あり)

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

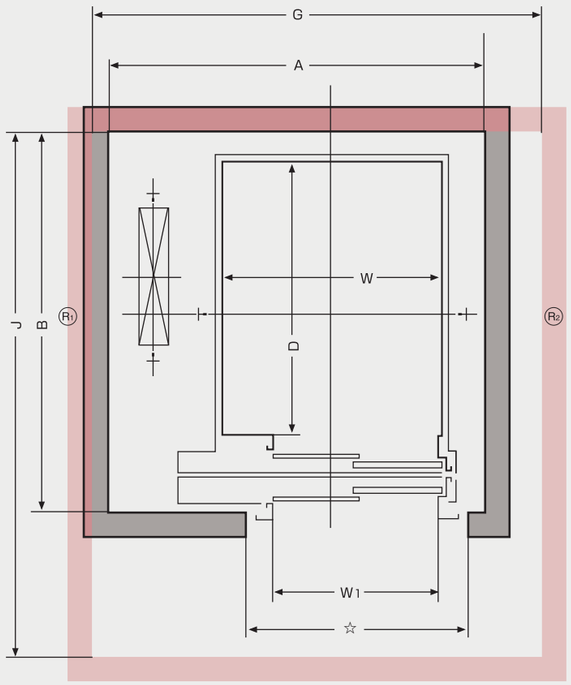
人荷用エレベーター
人及び荷物を輸送することを目的とするものです。
※法的には乗用エレベーターとして扱われます。

◆昇降路縦断面図



★印は別途工事を示します

◆昇降路／機械室平面図



☆印の寸法はP15をご参照ください。

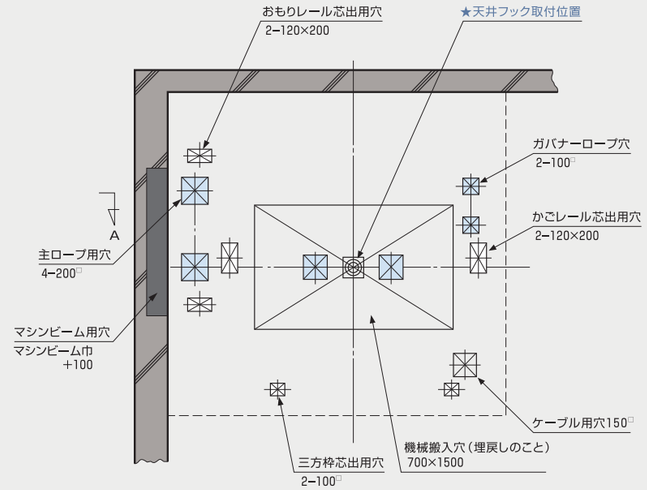
機種	出入口	定員(人)	積載質量(kg)	速度(m/min)	かご内法(mm) 間口(W)	かご内法(mm) 奥行(D)	かご内法(mm) 高さ(H)	出入口(mm) 間口(W1)	出入口(mm) 高さ(H1)	昇降路内法(mm) 昇降路間口(A)	昇降路内法(mm) 昇降路奥行(B)	昇降路内法(mm) オーバーヘッド(OH)	昇降路内法(mm) ピット(P)	機械室内法(mm) G	機械室内法(mm) J	最小階高	反力(kN)[鉛直荷重] 長期荷重 R1	長期荷重 R2	緩衝器衝突時 かご R3	緩衝器衝突時 ウェイト R4	電動機容量(kW)
MSPe-500-2S	一方向	7	500	30(45)	1,050	1,300	2,300	900	2,100	2,150	1,900	4,350	1,230	3,250	2,800	2,800	40	17	44	36	5.5
MSPe-750-2S		10	750	30(45)	1,200	1,500	2,300	900	2,100	2,300	2,100	4,350	1,230	3,250	3,000	2,800	50	25	62	50	5.5
MSPe-1000-2S		14	1,000	30(45)	1,500	1,500	2,300	1,200	2,100	2,600	2,100	4,350	1,230	3,350	3,000	2,800	70	33	86	70	5.5(7.5)

■機械室の各反力はR_1=オモリ側、R_2=戸当り側を示します。　■鉄骨造の場合は別途お問い合わせ下さい。

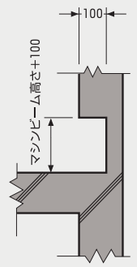
機械室施工要領(機械室あり)

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

◆コンクリート構造／機械室平面図

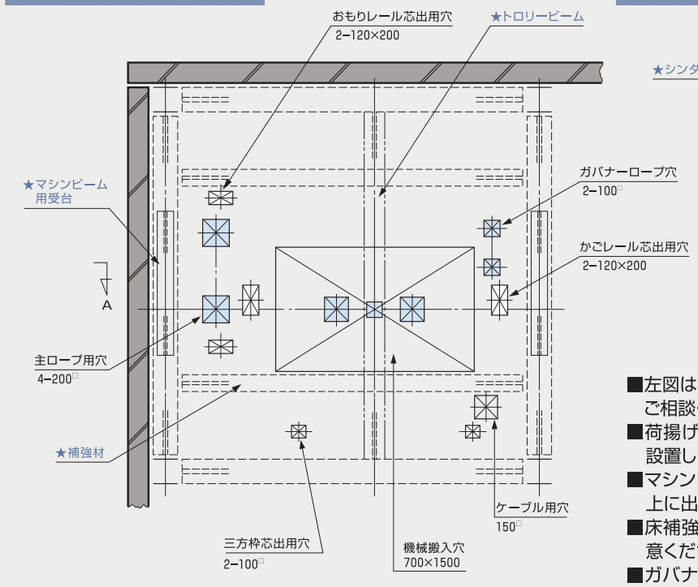


◆断面A



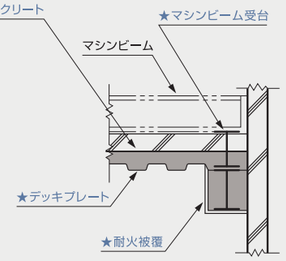
■左図は標準的なレイアウトです。三方枠、おもり吊芯、主ロープ、カバナロープ、機械搬入穴、ケーブルの位置および開孔寸法については各々の機種により異なりますのでその都度、ご相談ください。
■□は機械据付後に埋戻しをしてください。

◆鉄骨構造／機械室平面図



★印は別途工事を示します

◆断面A



■左図は標準的なレイアウトです。 機種決定後ご相談ください。
■荷揚げ用として機械室天井にトロリービームを設置してください。
■マシンビーム受台は、シンダーコンクリートより上に出るように設置してください。
■床補強材がある時はオーバーヘッド寸法にご注意ください。
■ガバナーマシン作動時の質量に耐えるよう補強材を取付けてください。
■□は機械据付後に埋戻しをしてください。

各頁の据付図・寸法表における注意事項

■前各頁の昇降路寸法はピット防水完了後の最小寸法を示しています
■昇降路側壁は150mm以上確保してください
■引込線は最大亘長30mとして計算してあります